

## スマトラ島沖地震ムラボー・アチェ地域調査報告

### Investigation of 2004 Sumatra Earthquake (M:9.0; Dec.26, 2004) in Meulaboh, Aceh

# 大角 恒雄[1]; 下條 哲成[2]

# Tsuneo Ohsumi[1]; Tetsunari Gejo Gejo [2]

[1] 日本工営・中央研究所; [2] 日本工営・海外カンパニー

[1] Nippon Koei Co., Ltd. R&D ; [2] Nippon Koei. Co., Ltd Overseas

インドネシアのスマトラ島沖で 2004 年 12 月 26 日マグニチュード M9.0 の大地震が発生し、津波などにより、スリランカ、インド、インドネシア、タイで推定 30 万人近い犠牲者が発生した。筆者らは震源に近いスマトラ島西岸地域アチェ州のムラボーをめざし、現地 NGO とともに 2005 年 1 月 18 日から 22 日にかけて、陸路支援物資輸送とともに被害調査を実施した。ムラボー・アチェ地域 (Meulaboh Aceh) は州都バンダアチェから南東に 200 km に位置し、震源にもっとも近い都市であり、津波による家屋の倒壊率をもっとも高いと言われた地域である。スウティア (Suwak Timah) 村から湾岸にムラボーへの道路がつながっていたが地震によって地形が変わって通行できない状態であった。このため、村からチャラン (Calang) へは通行できない状態で、船による輸送のみである。復興の課題として、多量にある都市部の瓦礫の除去と処理道路沿いの村や都市は津波によって大きな被害を受けた模様であるが、支援も十分に行えない状況であった現状を報告する。